

# コミュニティのwell-being増進のために

## 医療機関はどのように貢献できるか？

—国内事例およびコンパッション都市の概念に基づく議論—

### タイムテーブル

15:00-15:05 オープニング

15:05-16:45 **事例検討：医療機関による「地域づくり活動」はパブリックヘルスに貢献できるか**

- ・東京都立病院機構 東京都立広尾病院 ナースプラクティショナー 高橋 依世理氏
  - ・医療法人社団同善会 同善病院 コミュニティプランナー 福井 彩香氏
  - ・医療法人稲生会 理事長 土畠 智幸氏
  - ・医療法人社団オレンジ ほっちのロッチ 共同代表 藤岡 聡子氏
- アラン・ケレハー先生より、事例ごとにコメント**

16:45-17:00 休憩

17:00-18:50 **パネルディスカッション：今後の活動展開に向けた議論**

- ・活動の主体、持続可能性、測定に関する側面から
- ・フリーディスカッション

18:50-19:00 クロージング

**Allan Kellehear 氏**：英国ノーザンブリア大学（ソーシャルワーク、教育、コミュニティ・ウェルビーイング）教授。専門はパブリックヘルスとエンドオブライフケア。オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学で社会学の博士号（Ph.D.）を取得。同国ラトローブ大学教授、東京大学客員教授、英国バース大学教授、カナダ・ダルハウジー大学教授、英国ミドルセックス大学教授、英国ブラッドフォード大学教授、米国バーモント大学を歴任。英国社会科学アカデミーフェロー（FACSS）

逐次通訳：重松 加代子氏

- **対象**： コミュニティのwell-beingに関心のある学生・研究者・実践者・医療機関関係者など
- **定員**： 60名（先着順）
- **申込**： <https://forms.gle/2ZKCSW7UzvQ2HSef7>（締切：10月31日）→ 
- **主催**： 地方独立行政法人 東京都立病院機構
- **企画**： 同上 総合診療育成プロジェクト 検討委員有志（長谷田 真帆、室田 信一、堀田 聡子）
- **参考書籍**：アラン・ケレハー 著、竹之内 裕文、堀田 聡子 監訳。2022。コンパッション都市－公衆衛生と終末期ケアの融合－。慶應義塾大学出版会

開催日時

2024年

11月8日（金）

15-19時

会場

渋谷ソラスタコンファレンス4G

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目21番1号 渋谷ソラスタ4階

<https://x.gd/xjVQY>